

様式第 2 号の 1 - ② 【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 1 - ①を用いること。

学校名	情報科学専門学校
設置者名	学校法人岩崎学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	情報セキュリティ学科	夜・通信	1080 時間	320 時間	
	先端 IT システム科	夜・通信	990 時間	240 時間	
	Web 技術科	夜・通信	930 時間	160 時間	
	実践 IoT 科 (情報工学科)	夜・通信	960 時間	160 時間	
	情報処理科	夜・通信	1095 時間	160 時間	
	IT ライセンス科	夜・通信	90 時間	80 時間	
商業実務専門課程 (備考)	ビジネス科	夜・通信	525 時間	160 時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

教職員室に備え付ける「閲覧用シラバス」とともに一覧表をファイリングして公表
---------------------------------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	情報科学専門学校
設置者名	学校法人 岩崎学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人本部事務所に備え付け
--------------

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	平成30年12月1日～ 令和4年11月30日	法人運営に関する 助言と指導
非常勤	大学教授	平成30年12月1日～ 令和4年11月30日	当法人教学組織への 助言と指導
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	情報科学専門学校
設置者名	学校法人岩崎学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)を作成する際に、「授業計画(シラバス)作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画(シラバス)を作成している。</p> <p>授業計画(シラバス)は、本校の教育課程編成委員会において、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行っている。</p> <p>授業計画(シラバス)の内容については各教科目の初回の授業開始時に担当教員から学生に対して具体的な説明を行っている。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>教職員室に備え付け、希望者は誰でも閲覧が可能な状態にしている。</p> <p>「閲覧用シラバスファイル」</p> <p>書面、学内学生専用 Web サイトへの提示</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の評価方法は、本校の「学則」「試験規程」「成績評価」「履修要項」に定め、その内容に従って評価を行っている。</p> <p>また、授業計画(シラバス)においても、科目ごとに評価方法を記載し公表している。</p> <p>なお、「学則」「試験規程」「成績評価」「履修要項」については、全学生に配布している「学生生活の手引き」にて記載・周知している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「A」「B」「C」「D」の4段階の評価をそれぞれ3点から0点までに点数化し、点数の合計を授業科目数で除すことで、学生一人一人のGPAの算出を行い、成績の分布状況の把握を行っている。</p> <p>成績不振に該当する学生に対する個別指導等の判断材料として活用している。</p> <p>なお、「認」「否」の2段階で成績評価を行う授業科目においては、点数化が困難であることから、上記GPAの対象から除くものとする。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>教職員室に備え付ける「閲覧用シラバス」内に成績評価の方法を記載するとともに、それに基づくGPAの算出方法についても同シラバスにファイリングして公表し、希望者は誰でも閲覧が可能な状態にしている。また、学生に配布する「学生生活の手引き」においても公表している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校所定の全教育課程を修了し、「学則」に定めた卒業の要件を満たしている学生に関して、本校の教育方針である「高度な技術力の習得」「文書作成能力の育成」「豊かな人間性の涵養」の3項目の修得状況について会議により判定し、卒業後に活用・実践できる水準に達していることを確認できた場合に卒業認定を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学生に配布する「学生生活の手引き」において公表している。また、教職員室に学生が随時参照閲覧できるように常時ファイリングし備え付けしている。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	情報科学専門学校
設置者名	学校法人 岩崎学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.iwasaki.ac.jp/financial_2019.html">http://www.iwasaki.ac.jp/financial_2019.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.iwasaki.ac.jp/financial_2019.html">http://www.iwasaki.ac.jp/financial_2019.html</a>
財産目録	<a href="http://www.iwasaki.ac.jp/financial_2019.html">http://www.iwasaki.ac.jp/financial_2019.html</a>
事業報告書	<a href="http://www.iwasaki.ac.jp/financial_2019.html">http://www.iwasaki.ac.jp/financial_2019.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://www.iwasaki.ac.jp/financial_2019.html">http://www.iwasaki.ac.jp/financial_2019.html</a>

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報セキュリティ学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,600 単位時間/単位	1,710 単位時間 /単位	1,245 単位時間 /単位	1,530 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			4,485 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		397人	0人	6人	6人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）を作成する際に、「授業計画（シラバス）作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画（シラバス）を作成している。</p> <p>授業計画（シラバス）は、本校の教育課程編成委員会において、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行っている。</p> <p>授業計画（シラバス）の内容については各教科目の初回の授業開始時に担当教員から学生に対して具体的な説明を行っており、また、教職員室での備え付け、学内システムに学生が随時閲覧可能な状態になっている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>「A」「B」「C」「D」の4段階の評価をそれぞれ3点から0点までに点数化し、点数の合計を授業科目数で除すことで、学生一人一人のGPAの算出を行い、成績の分布状況の把握を行っている。</p> <p>成績不振に該当する学生に対する個別指導等の判断材料として活用している。</p> <p>なお、「認」「否」の2段階で成績評価を行う授業科目においては、点数化が困難であることから、上記GPAの対象から除くものとする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>本校所定の全教育課程を修了し、「学則」に定めた卒業の要件を満たしている学生に関して、本校の教育方針である「高度な技術力の習得」「文書作成能力の育成」「豊かな人間性の涵養」の3項目の修得状況について会議により判定し、卒業後に活用・実践できる水準に達していることを確認できた場合に卒業認定を行っている。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100.0%)	1人 (3.4%)	27人 (93.1%)	1人 (3.4%)
（主な就職、業界等） セキュリティエンジニア、プログラマ、システムインテグレータ、システムエンジニア、システム運用などの IT 業界に就職			
（就職指導内容） IT 業界について学び、求められる人材像などを理解した上で、個人面談で学生の資質や就職先希望などを具体的に絞り込み履歴書を作成、面接指導などを行っていく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理安全確保支援士試験、応用情報技術者試験、各種ベンダー資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	6人	17.1%
（中途退学の主な理由） 病気療養及び進路変更、学費難のため就職		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）を週次のクラス担任会議で共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、臨床心理資格を有する専任カウンセラーを設置している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	情報処理科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	2,250 単位時間 /単位	480 単位時間 /単位	210 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,940 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320人	387人	0人	11人	7人	18人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画 (シラバス) を作成する際に、「授業計画 (シラバス) 作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画 (シラバス) を作成している。 授業計画 (シラバス) は、本校の教育課程編成委員会において、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行っている。授業計画 (シラバス) の内容については各教科目の初回の授業開始時に担当教員から学生に対して具体的な説明を行っており、また、教職員室での備え付け、学内システムに学生が随時閲覧可能な状態になっている。
成績評価の基準・方法
(概要) 「A」「B」「C」「D」の4段階の評価をそれぞれ3点から0点までに点数化し、点数の合計を授業科目数で除すことで、学生一人一人のGPAの算出を行い、成績の分布状況の把握を行っている。 成績不振に該当する学生に対する個別指導等の判断材料として活用している。 なお、「認」「否」の2段階で成績評価を行う授業科目においては、点数化が困難であることから、上記GPAの対象から除くものとする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校所定の全教育課程を修了し、「学則」に定めた卒業の要件を満たしている学生に関して、本校の教育方針である「高度な技術力の習得」「文書作成能力の育成」「豊かな人間性の涵養」の3項目の修得状況について会議により判定し、卒業後に活用・実践できる水準に達していることを確認できた場合に卒業認定を行っている。
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
162 人 (100.0%)	3 人 (1.9%)	155 人 (95.7%)	4 人 (2.5%)
（主な就職、業界等） システムインテグレータ、プログラマ、システムエンジニア、システム運用などの IT 業界に就職			
（就職指導内容） IT 業界について学び、求められる人材像などを理解した上で、個人面談で学生の資質や就職先希望などを具体的に絞り込み履歴書を作成、面接指導などを行っていく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、各種ベンダー資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
170 人	8 人	4.7%
（中途退学の主な理由） 病気療養及び進路変更、学費難のため就職		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）を週次のクラス担任会議で共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、臨床心理資格を有する専任カウンセラーを設置している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	先端 IT システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,700 単位時間/単位	1,560 単位時間 /単位	1,140 単位時間 /単位	765 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			3,465 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75人		111人	0人	3人	10人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画 (シラバス) を作成する際に、「授業計画 (シラバス) 作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画 (シラバス) を作成している。 授業計画 (シラバス) は、本校の教育課程編成委員会において、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行っている。授業計画 (シラバス) の内容については各教科目の初回の授業開始時に担当教員から学生に対して具体的な説明を行っており、また、教職員室での備え付け、学内システムに学生が随時閲覧可能な状態になっている。
成績評価の基準・方法
(概要) 「A」「B」「C」「D」の4段階の評価をそれぞれ3点から0点までに点数化し、点数の合計を授業科目数で除すことで、学生一人一人のGPAの算出を行い、成績の分布状況の把握を行っている。 成績不振に該当する学生に対する個別指導等の判断材料として活用している。 なお、「認」「否」の2段階で成績評価を行う授業科目においては、点数化が困難であることから、上記GPAの対象から除くものとする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校所定の全教育課程を修了し、「学則」に定めた卒業の要件を満たしている学生に関して、本校の教育方針である「高度な技術力の習得」「文書作成能力の育成」「豊かな人間性の涵養」の3項目の修得状況について会議により判定し、卒業後に活用・実践できる水準に達していることを確認できた場合に卒業認定を行っている。
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100.0%)	0人 (0.0%)	12人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） システムインテグレータ、ネットワーク施工、プログラマ、システムエンジニア、システム運用などの IT 業界に就職			
（就職指導内容） IT 業界について学び、求められる人材像などを理解した上で、個人面談で学生の資質や就職先希望などを具体的に絞り込み履歴書を作成、面接指導などを行っていく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、各種ベンダー資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 中途退学なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）を週次のクラス担任会議で共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、臨床心理資格を有する専任カウンセラーを設置している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	実践 IoT 科 (情報工学科)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 (2年生は1,800) 単位時間/単位	2,130 (1,680) 単位時間 /単位	480 (180) 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,610(1,860)単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		49人	0人	3人	8人	11人	

※平成31年4月1日に学科名変更・カリキュラム変更・学則変更を実施。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画 (シラバス) を作成する際に、「授業計画 (シラバス) 作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画 (シラバス) を作成している。 授業計画 (シラバス) は、本校の教育課程編成委員会において、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行っている。 授業計画 (シラバス) の内容については各教科目の初回の授業開始時に担当教員から学生に対して具体的な説明を行っており、また、教職員室での備え付け、学内システムに学生が随時閲覧可能な状態になっている。
成績評価の基準・方法
(概要) 「A」「B」「C」「D」の4段階の評価をそれぞれ3点から0点までに点数化し、点数の合計を授業科目数で除すことで、学生一人一人のGPAの算出を行い、成績の分布状況の把握を行っている。 成績不振に該当する学生に対する個別指導等の判断材料として活用している。 なお、「認」「否」の2段階で成績評価を行う授業科目においては、点数化が困難であることから、上記GPAの対象から除くものとする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校所定の全教育課程を修了し、「学則」に定めた卒業の要件を満たしている学生に関して、本校の教育方針である「高度な技術力の習得」「文書作成能力の育成」「豊かな人間性の涵養」の3項目の修得状況について会議により判定し、卒業後に活用・実践できる水準に達していることを確認できた場合に卒業認定を行っている。
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100.0%)	0人 (0.0%)	9人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 組込系プログラマ、システムインテグレータ、システムエンジニア、システム運用などのIT業界に就職			
（就職指導内容） IT業界について学び、求められる人材像などを理解した上で、個人面談で学生の資質や就職先希望などを具体的に絞り込み履歴書を作成、面接指導などを行っていく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、各種ベンダー資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	2人	18.2%
（中途退学の主な理由） 病気療養及び進路変更、学費難のため就職		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）を週次のクラス担任会議で共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、臨床心理資格を有する専任カウンセラーを設置している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	Web 技術科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	2,100 単位時間 /単位	420 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,640 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	98人	0人	2人	8人	10人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画 (シラバス) を作成する際に、「授業計画 (シラバス) 作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画 (シラバス) を作成している。 授業計画 (シラバス) は、本校の教育課程編成委員会において、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行っている。授業計画 (シラバス) の内容については各教科目の初回の授業開始時に担当教員から学生に対して具体的な説明を行っており、また、教職員室での備え付け、学内システムに学生が随時閲覧可能な状態になっている。
成績評価の基準・方法
(概要) 「A」「B」「C」「D」の4段階の評価をそれぞれ3点から0点までに点数化し、点数の合計を授業科目数で除すことで、学生一人一人のGPAの算出を行い、成績の分布状況の把握を行っている。 成績不振に該当する学生に対する個別指導等の判断材料として活用している。 なお、「認」「否」の2段階で成績評価を行う授業科目においては、点数化が困難であることから、上記GPAの対象から除くものとする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校所定の全教育課程を修了し、「学則」に定めた卒業の要件を満たしている学生に関して、本校の教育方針である「高度な技術力の習得」「文書作成能力の育成」「豊かな人間性の涵養」の3項目の修得状況について会議により判定し、卒業後に活用・実践できる水準に達していることを確認できた場合に卒業認定を行っている。
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100.0%)	2人 (6.9%)	23人 (79.3%)	4人 (13.8%)
（主な就職、業界等） Web エンジニア、Web デザイナー、システムインテグレーター、プロウラマ、システム運用などの IT 業界に就職			
（就職指導内容） IT 業界について学び、求められる人材像などを理解した上で、個人面談で学生の資質や就職先希望などを具体的に絞り込み履歴書を作成、面接指導などを行っていく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、各種ベンダー資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37人	8人	21.6%
（中途退学の主な理由） 病気療養及び進路変更、学費難のため就職		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）を週次のクラス担任会議で共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、臨床心理資格を有する専任カウンセラーを設置している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	IT ライセンス科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	900 単位時間/単位	900 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			900 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		5人	0人	1人	3人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画 (シラバス) を作成する際に、「授業計画 (シラバス) 作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画 (シラバス) を作成している。 授業計画 (シラバス) は、本校の教育課程編成委員会において、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行っている。授業計画 (シラバス) の内容については各教科目の初回の授業開始時に担当教員から学生に対して具体的な説明を行っており、また、教職員室での備え付け、学内システムに学生が随時閲覧可能な状態になっている。
成績評価の基準・方法
(概要) 「A」「B」「C」「D」の4段階の評価をそれぞれ3点から0点までに点数化し、点数の合計を授業科目数で除すことで、学生一人一人のGPAの算出を行い、成績の分布状況の把握を行っている。 成績不振に該当する学生に対する個別指導等の判断材料として活用している。 なお、「認」「否」の2段階で成績評価を行う授業科目においては、点数化が困難であることから、上記GPAの対象から除くものとする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校所定の全教育課程を修了し、「学則」に定めた卒業の要件を満たしている学生に関して、本校の教育方針である「高度な技術力の習得」「文書作成能力の育成」「豊かな人間性の涵養」の3項目の修得状況について会議により判定し、卒業後に活用・実践できる水準に達していることを確認できた場合に卒業認定を行っている。
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100.0%)	0人 (0.0%)	4人 (80.0%)	1人 (20.0%)
（主な就職、業界等） プログラマ、システムインテグレータ、システムエンジニア、システム運用、事務職などの IT 業界に就職			
（就職指導内容） IT 業界について学び、求められる人材像などを理解した上で、個人面談で学生の資質や就職先希望などを具体的に絞り込み履歴書を作成、面接指導などを行っていく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、各種ベンダー資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 中途退学なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）を週次のクラス担任会議で共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、臨床心理資格を有する専任カウンセラーを設置している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	ビジネス科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	1,680 単位時間 /単位	1,545 単位時間 /単位	105 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			3,330 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	61人	0人	3人	12人	15人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画 (シラバス) を作成する際に、「授業計画 (シラバス) 作成ガイドライン」を定め、各教員はガイドラインに従って授業計画 (シラバス) を作成している。 授業計画 (シラバス) は、本校の教育課程編成委員会において、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行っている。授業計画 (シラバス) の内容については各教科目の初回の授業開始時に担当教員から学生に対して具体的な説明を行っており、また、教職員室での備え付け、学内システムに学生が随時閲覧可能な状態になっている。
成績評価の基準・方法
(概要) 「A」「B」「C」「D」の4段階の評価をそれぞれ3点から0点までに点数化し、点数の合計を授業科目数で除すことで、学生一人一人のGPAの算出を行い、成績の分布状況の把握を行っている。 成績不振に該当する学生に対する個別指導等の判断材料として活用している。 なお、「認」「否」の2段階で成績評価を行う授業科目においては、点数化が困難であることから、上記GPAの対象から除くものとする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校所定の全教育課程を修了し、「学則」に定めた卒業の要件を満たしている学生に関して、本校の教育方針である「高度な技術力の習得」「文書作成能力の育成」「豊かな人間性の涵養」の3項目の修得状況について会議により判定し、卒業後に活用・実践できる水準に達していることを確認できた場合に卒業認定を行っている。
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
51人 (100.0%)	0人 (0.0%)	45人 (88.2%)	6人 (11.8%)
（主な就職、業界等） 一般事務、秘書、受付、銀行窓口、販売、ショップ店員、簿記、会計、経理などのビジネス業界に就職			
（就職指導内容） ビジネス業界について学び、求められる人材像などを理解した上で、個人面談で学生の資質や就職先希望などを具体的に絞り込み履歴書を作成、面接指導などを行っていく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定、サービス接遇実務検定、ファイナンシャル・プランニング技能士、日商簿記検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55人	4人	7.3%
（中途退学の主な理由） 病気療養及び進路変更、学費難のため就職		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）を週次のクラス担任会議で共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、臨床心理資格を有する専任カウンセラーを設置している。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報セキュリティ学科	200,000 円	605,000 円	475,000 円	その他： 維持費、実習費、施設費、 学生諸費
先端 IT システム科	200,000 円	605,000 円	475,000 円	
情報処理科	200,000 円	605,000 円	475,000 円	
情報工学科	200,000 円	605,000 円	475,000 円	
実践 IoT 科	200,000 円	605,000 円	475,000 円	
Web 技術科	200,000 円	605,000 円	475,000 円	
ビジネス科	200,000 円	605,000 円	475,000 円	
IT ライセンス科	100,000 円	605,000 円	475,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
岩崎学園奨学生制度、岩崎学園震災特別対応基金制度、岩崎学園専門学校授業料減免制度、特待生制度、等				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) Web サイトで公開 <a href="http://isc.iwasaki.ac.jp/info_disclosure/index.html">http://isc.iwasaki.ac.jp/info_disclosure/index.html</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 各年度の学校運営について、委員として委嘱した4名の委員により以下に関する意見を求める。 ①本校の教育目標、教育方針、教育計画に関すること、②教育活動の実施に関すること、③学校と地域の連携の進め方に関すること、④その他本校の学校運営に関すること。 また、これら評価結果については、毎年末に実施する教務部長および学科責任者による次年度カリキュラム編成会議等において、各学科毎にカリキュラムや教務運営方針に反映し活用する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
神奈川県情報サービス産業協会	2016年4月1日～2020年3月31日 (4年)	企業等
株式会社ラック	2016年4月1日～2020年3月31日 (4年)	企業等
日経統合システム 事業開発本部	2016年4月1日～2020年3月31日 (4年)	企業等、卒業生
情報科学専門学校 保護者	2019年度について委員選任予定	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) Web サイトで公開 <a href="http://isc.iwasaki.ac.jp/info_disclosure/index.html">http://isc.iwasaki.ac.jp/info_disclosure/index.html</a>		

第三者による学校評価（任意記載事項）

JAMOTE 認証サービス（「ISO29990：非公式教育・訓練における学習サービスサービス事業者向け基本的要求事項の認証スキーム（初版）」に則った認証）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<http://isc.iwasaki.ac.jp/>